



網走市、大空町東藻琴 JAオホーツク網走 『長いものをアメリカ、台湾、シンガポールへ』

【主な品目】

長いも

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、台湾、シンガポール

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆平成25年時、国内市場は安値が続いており、また、各産地が豊作基調となったため輸出を検討。
- ◆東南アジアへの輸出は価格競争となる不安から、当時輸出実績の少なかったアメリカへ試験的に輸出を開始。その後、小ロットではあるが東南アジアへ輸出を開始した。

【輸出実績】(平成25年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年度	4,707	125	通年
令和元年度	4,295	124	
令和2年度	4,261	126	



HACCP認証の箱で国内外へアピール

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 中国産長芋の品質向上に伴い、品質面と価格面での競争が激化してきており、秀品と優品の割合を変更したが品質面での課題が残ったため、選果基準を再度確認強化した。
- 海外での食品安全基準に対応するため、選果施設においてHACCPを取得。



現地(ロスアンゼルス)取引先を介したフェアでの食べ方提案(大学いも)

【今後の課題・展望】

- 輸出量はピーク時より減少しているが、海外から求められる品質・コスト・ロットでの生産や海外の規制等に対応した「グローバル産地」の形成が必要なことから「グローバル産地づくり」推進事業を活用し、将来を見据えて基盤整備を行っている。今後は、販売形態、現地のマーケットインについても考慮しつつ、継続的な販売を行っていきながら増産体制の構築を目指す。
- 規格外等の全規格について、加工品用途の提案及び現在おが屑等のごみを運んでいるような状況についても新たな物流提案を行えるよう調査、試験を実施していく。

現地ニーズに対応する為
長いものパッキングセンターの稼働

【活用した支援・施策】令和元年度グローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://ja-okhotskabashiri.or.jp>

【連絡先】 担当者名: 販売部販売企画課

TEL: 0152-43-2311